

水無みよう

第17号

東地区地域づくり協議会々報
発行 平成28年2月1日
発行責任者 佐藤成孝
茗荷沢268番地1 (東開発センター)
電話 025-779-3312

「区長って何だろう」

大倉区長 上村則夫さん(62)に聞く

東各集落で区長の改選期を迎えていた。「区長って何だろう」間もなく任期を終える大倉区長・上村則夫さんに聞いた。(聞き手 関正太郎
会報編集担当=1月21日、上村氏宅)

ゴ
ベ
エ
人暮らし。
妻富子さん(61)と二
回目。農業区長は同20年以來
所など歴任。平成25年3月退
所に出しに、関越自動車道用地事務所、小出保健医事課を振
年県職。県立小出病院医事課を振
昭和28年9月生まれ。同47



上村則夫さん

背後にいる集落の人達が力の源

—今の日本で監督官庁を持たないこと自体、区ないし区長というのは、すごい力です。その源はどこにあるのでしょうか。

上村 区長の背後に集落があり、区長はそこに住んでいる人達の代表でしょう、だから強いんです。それが叶う、叶わないはともかく発言は区を代表しているのですから。私も県職員だったから分かるんですが、役所は立て系列でしょう。だから上には弱いんです、何かあると責任が自分に来ますから、それは会社でも同じことです。区長は、会社員や公務員と立っている場所が違うということです。

区長は、「区長様」と様を付けて呼称されるでしょう、今どき様と呼ばれるのは他にないです

ね。他の集落もそうでしょうが、大倉も以前は特定の人達しか区長にはなれなかったのです。昔は威厳があり、個人の悩みも含め、集落のあらゆる問題で頼りにされていたような気がします。

増えた仕事量、対面が不足

—平成20年に区長をし、今回2回目ですがこの間、何か変化を感じたでしょうか。

上村 自身のことを言えば、前回は現役で仕事をしながらです、中越地震復興に携わっていて小千谷に通っていました。だから区長の仕事は土、日とか仕事から帰ってきて夜書類づくりなどしました。今回は退職しどこにも勤めず、妻と野菜栽培しながらですから、時間の余裕が最初の



火渡り祭 5月31日

区長の時とぜんぜん違います。改めて最初の区長を振り返ると、良くやったな、と思いますよ。今年東の区長さんは若くて会社勤の人が多く、手間が大変だというのは自分がそうだったから良く分かります。「区長の仕事ならいいよ」といってくれる勤め先は、昔はともかく今は無いですからね。

区長の仕事の内容でいえば、量が増えました。雑用といえば言葉は悪いしそれも大事ですがなんでもかんでも「区長」でしょう。直接役所が集落に足を運ぶというのは大切なんですよ。区長が整えた文書も実際は込み入った事情で表に出ていないことが多い。そうしたことはチェック

大倉

ブリーフィング 委員 7人 各隣組から

戸数 60
区長 選挙で就任3年前
の年頭で決める
委員 7人 各隣組から

27年区会計見込み額 約430万円
常会・委員会開催回数 通常年は5~6回

区長活動 日数
160日

クシートや通達では分かりません。地域に足を運んでこそ分かることです。「すべて区長に」では雑用が増えるだけで仕事はおざなりになります。役所の立て系列の末端として区長を使うと、だんだん区長のなり手がいなくなります。行政は区長、ことに若い区長の声を聞く機会をこれから持つべきです。文書ではダメです。

苦しい中にも夢

(下へ↓)



ブナ林コンサート 6月13日

くの人が来ます。大倉にはコンサートなどを主催する「おおくらの森協議会」の他に「おおくらの村づくり委員会」、次世代の「おおくら里山の会」があります。今晚はその会合で28年度の計画を立てます。登山、登山道の整備、シメ縄つくり、収穫祭、尺八演奏会などをしています。今こうして一緒に動いていると、年をとっても仲間でいられるというのは、これから強みになります。

私はあちこちの会に出ますが、夢を語る雰囲

気が失われている気がしてなりません。だから集落や地域に夢を語る場があつていいのかなと思います。現実は厳しいけれど、そればかりでは、将来が開けません。集まって話し合えば必ず、こうしたいという夢が出てくるんですよ。

屋号が分かるくらいの付き合い

—やはり県職だった兄の健一さんが新潟に家を建て、実家を継いで則夫さんは大倉に住んで来ました。今後の東について何かありますか。

上村 高齢化が進んでいます。若者は余裕が持てません。今後若者が東の屋号と人がお互い分かるくらいの交流が最低必要でしょう。空き家、除雪、集落合併、グループホーム、いろんな課題が出てきますよ、これからは。